

## VI 調布なないろ保育園

### 第1 総括

平成30年度は、改定された保育所保育指針に基づき、指針の内容理解に努めながら、実際の子どもの育ちと、子どもが主体的に育つための課題を園内研修で拾い上げ保育実践に生かした。園の構造上、保育運営は年齢別保育を基本として8年間実施してきたが、昨年度は意図的に計画した異年齢保育活動を多く実践したことで、クラスを越えた人への関心や思いやりの心が育まれてきた。その経験をとおして、子ども達が異年齢の中で相互に育ち合う事は、「好きな遊びを共有し、満足いくまで経験する事の蓄積」という本園での保育の本質に辿り着き、子ども達がより充実して関われる環境設定を探求した。

また、昨年度は地域家庭が継続して一時保育利用が可能になるよう、利用内容の改定を実施した。一日5名枠の定員が年間を通してほぼ満員状況で、活気ある支援へと繋げる事ができた。児童館からの紹介や、他施設に通う家庭からの問い合わせも多く、地域の子育て支援の拠点としての成果を実感できた。

さらに、平成30年度は、東日本大震災の被災地である宮城県東松島市の支援に参加することができた。年間を通した支援の中で、防災の備えの在り方だけでなく、地域力の強化の必要性や命の尊さを考える機会に巡まれ、改めて子ども達の命を守る重要性や地域の中で存在していく保育園の役割を再認識する事に繋がった。

課題であった休憩保障は、園全体で取り組み、職員がお互いの仕事量を把握しつつ、交代で休憩をとる習慣が出来つつあったが、年度末の繁忙期に入ると、曖昧になってしまったので、引き続き改善に努めていく。一方で、職員の家族に呼びかけ実施した「家族参加」は、家族の職場理解を得る事に大きく貢献したので次年度も継続していく。

今後も園の中にとどまらず、国や地方自治体の動向を知り、視野を広げていくながら、地域の中で選ばれる園として邁進していく。

### 第2 経営実績

#### 1 定員

(単位:人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
定員	6	14	20	20	20	20	100
実数	9	14	20 (1)	21 (1)	21	21 (3)	106

※ 括弧内は、障がい児の受入れ数

## 2 利用率

(単位：%)

事業名	平成 30 年度実績	平成 29 年度実績
調布なないろ保育園	106.0	104.0

## 第3 事業報告

### 1 重点事項への取組

#### (1) 子育て支援の充実

在園児の保護者に、年度当初に子育てについてのアンケートを取り、各家庭のニーズを踏まえ保育を行った。定期的な保育参加や個人面談の中で、家庭で願う子ども達の育成に対し、実際どのように育ってきているかを確認し合い、情報共有する事で信頼関係を築いた。また、園外でも継続的な支援が受けられるよう臨床心理士を招いて保護者との座談会を企画し、外部と保護者のルート作りを行った。

さらに、地域子育て支援として実施している一時保育事業では、継続的支援を目標とし、昨年度まで一家庭につき月15回利用を限度としていたところを、制限なく予約可能にしたことで、利用率が上昇し、充実した家庭支援を行う事ができた。

#### (2) 主体性を育む保育

乳児クラスでは、保育者と栄養士、調理員が子どもそれぞれの発達の特徴を捉え、十分な関わりを積み重ねてきた。個人によって課題はあるが、特定の大人に固執することが少なく、安心できる生活環境の中で、十分に自己発揮して過ごす事ができた。

また、クラス運営が定着した頃から、園内研修の一環として「担任交換」を実施した。保育士が他クラスの運営を体験したことで、新たな発見に気づき、自クラスの運営に生かしたり、子どもを多角的に把握したりすることに繋がった。

幼児クラスでは、幼児会議で密に情報交換をしながら、子どもの興味を引き出すための保育内容を探求した。カリキュラムの中で、目的や見通しを計画するだけでなく、そこに、子ども達がどのような関わり方を自主的にし、発展的に遊んでいるかを事例を基に追求した。特に、いくつかの遊びをコーナーにわけて行った異年齢保育の実践から、「好きな遊びに没頭する経験」を意図的に設定し積み重ねた事で、子ども達が今まで気づかなかったことに興味を示したり、新たな友達との友情を育んだりすることができ、豊かな人間形成へと紡ぐ事ができた。

### (3) 研修の充実

園内研修では、改定された保育所保育指針の内容理解を念頭に置きつつ、主体的な保育の研究を行った。回数を重ねるごとに、長年の間にできた大人数のルールが多くなっている事に気づき、現存のルールと子どもの育ちのために必要な保育実践とを照らし合わせ、保育の課題を吸い上げ改善に向けて討議を行った。

また、主体的な保育実践を先駆的に行っている幼稚園への見学や、少年の更生施設等を交代で見学し、自園の保育を掘り下げて考えたり、中長期的な計画へ反映させたりし、研修を通して保育の質を高めた。

## 2 実績報告

### (1) 園児の受け入れ状況

月別の園児受け入れ状況は、次のとおりである。(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
受託児	5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
	4歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
	3歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
	2歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
	1歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
	0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
	計	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	1272

### (2) 地域の子育て支援

#### ア 一時保育事業

一日5人を上限とし、調布市在住の子を対象として実施した。登録児の多数が乳児で、利用後在園児童として入園するケースもあり、事業の性質が十分発揮できた。予約条件の改定を実施したことで利用家庭が増加し、前年度より275人多い利用となった。

(単位：人)

月	一時保育延べ利用児童数												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
合計	50	62	79	93	97	84	109	107	105	106	100	130	1122

#### イ 地域交流事業

就学前の親子を対象に保育園体験を実施し園児との交流を図った。参加を経て園の様子を知り、その後一時保育事業へ登録したり、園の行事に地域家

庭の親子が参加したりするだけでなく、保護者が行事の手伝いをしてくれることもあり、園と地域家庭とがあたたかな関係性を築く事ができた。

(単位:組)

保育園体験	参加者	保育園体験	参加者
6月 5日	7	11月21日	1
7月 3日	5	12月 4日	4
9月11日	2	2月 8日	0
11月13日	1	3月12日	1
		合 計	2 1

#### ウ マタニティーサポート

出産を控えた妊産婦や保育園に通っていない1歳未満児の親子を対象に、0歳児クラスを体験しながら乳児の育て方や子育て相談、また離乳食の作り方、進め方を伝える会を定期的を実施した。参加者の中には、育児の見通しが立たず、子育てに不安を持っている保護者もあり、丁寧に対応した。

また、最終回では、次年度入園決定している0歳児クラスの保護者を招き、保育園での食事の進め方について事前レクチャーを実施した。

(単位:組)

実施日	参加者
6月 27日	1
7月 25日	1
9月 27日	2
10月 31日	2
11月 28日	5
1月 30日	5
2月 27日	5

#### エ 保育講座

保育園に在園している家庭及び地域家庭を対象に、保育園の特色や情報の発信等、子どもの生活が地域の中でより豊かに充実したものとなるよう保育講座を実施した。保護者が園に気軽に訪れ、参加しやすい雰囲気作りを心がけた。また、10月には東京臨床心理士会と保育園との合同企画で座談会を試みた。

(単位:組)

実施日	内容	参加者
7月14日	マーブリングでブックカバーを作ろう	9
10月27日	笑顔が増える子育てのコツ (座談会)	8
12月 1日	クリスマスリース作り	9
2月16日	飾り巻き寿司作り	9

### (3) 食育活動

本年度は、「食べる事を楽しむ」「食べ物に感謝の気持ちを持つ」「食の営みに興味・関心を持つ」の三点をテーマに、栄養士や調理員が中心となって、食育の月目標を立て保育士と連携を取りながら実践した。目標の達成に当っては、子ども達にわかりやすいよう手作りのパネルを用いて伝え、給食時には喫食の様子を見に行くなどして状況把握に努め、月一回のカリキュラム会議で報告をした。

さらに、「食べる事を楽しむ」中でも、食事をなるべく残さず食べ、感謝の気持ちを持ち、好き嫌いなく食べることの大切さや、調理保育や野菜の栽培を通して、食物を作ることの大変さを子ども達に伝えた。

保護者に向けては、給食や食育に興味を持ってもらえるよう、保育園のレシピを写真つきにし、給食室や納品業者の紹介を掲示するなどした。

以上のような様々な経験を通して、食に対しての興味を高めていき、子ども達が積極的に食事の準備や配膳の手伝いに参加するなど、食を営む基礎を培うことができた。

#### ア 行事食と世界の料理献立

月	行事食	郷土料理・世界の料理
4月	入園、進級お祝い献立 ・アンパンマンライス ・カレーコロッケ	
5月	子どもの日 ・鯉のぼりカレーライス ・春キャベツのスープ ・柏じゃがもち	
6月		韓国料理 ・韓国風ビビンバ ・チャプチェ ・チヂミ 長崎県：ちゃんぽん麺
7月	七夕 ・天の川ちらし寿司 ・七夕すまし汁 ・キラキラ白玉ポンチ	
8月		スペイン料理 ・パエリア ・肉団子 ・白いんげん豆のスープ 新潟県：のっぺい汁
9月	防災の日（非常食） ・カレーライス ・オニオンスープ ・みかん缶詰	
10月	開園記念日 ・カレーピラフ ・エビピラフ&ハンバーグ	大分県：かしわ天

	運動会応援献立 ・ブヒブヒソースかつ井	
11月		カナダ料理 ・メープルトースト ・サーモンチャウダー 中部地方：五平餅
12月 アレルギー 除去強化月	なかよし献立 (卵・乳・小麦不使用) もちつき ・雑煮風汁物 冬至 ・かぼちやの煮物 クリスマス ・ロールサンド ・唐揚げ ・豆乳コーンチャウダー	
1月	七草 ・七草粥 鏡開き ・白玉しるこ	
2月	節分 ・おにバーグ ・いわしのつみれ汁 ・鬼まんじゅう バレンタイン ・ココアクッキー	沖縄県：タコライス
3月	5歳児リクエスト献立 ・味噌ラーメン ・はんぺんチーズフライ ・揚げパン等 ひな祭り ・飾り寿司 ・ひなまつりゼリー	

## イ 食育活動

4月	スムージー (3歳児)	9月	ヨーグルトシャーベット (幼児異年齢)
5月	ジャムサンド (2歳児)	11月	ブックメニュー (3歳児) 「ぐりとぐらのスイートパンブキン」
5月	豆の大きさ比べ (3歳児)	11月	さつま芋茶巾 (5歳児)
6月	ジュンベリースムージー (全体)	12月	豆腐ドーナツ (4歳児)
7月	枝豆ご飯 (4歳児)	12月	ブックメニュー (3歳児) 「クッキーひめのクッキー」
7月	ブックメニュー (3歳児) 「ゴリララくんのちくわ」	12月	米粉のパンケーキ (5歳児)
7月	アイスクリーム (幼児異年齢)	12月	おでん風屋台 (幼児)
7月	じゃがじゃがポテト (全体)	3月	豆腐作り (4歳児)
8月	カレーライス (5歳児)	3月	いちごのジュース (一時保育)

8月	梅干しアイスクリーム（3歳児）	3月	サンドイッチ（2歳児）
8月	すいかわり（幼児）	3月	ホットケーキ（3歳児）
8月	ゼリー（幼児異年齢）		

※ 日々の保育の中で野菜の皮むき・おにぎり作りを実施

※ 当日献立食材を、見て、触って、感じる（0歳児）

※ 毎月旬の果物の種類を感じ、触感、香り、味覚の違いを感じる（1～2歳児）

※ 米とぎ・炊飯…5歳児

#### (4) 保健報告

##### ア 健康管理

健康な身体作りのために、各クラスの課題に応じ、戸外活動の推奨を行った。

また、感染症が流行し始める前に2歳児クラスから5歳児クラスを対象に手洗い指導を実施。調布市民間施設長会主催の看護師会や厚生労働省保険局からの感染症流行情報を職員に周知して、感染症流行前の予防に努めた。園児のインフルエンザや胃腸炎の罹患も例年に比べ比較的少なく、継続して嘔吐物や排泄時の処理方法に重点を置き感染予防に努めた。

さらに、目標とした「基本的な生活習慣の確立」では、看護師の視点から保護者に、胃腸炎後等の食事についてのアドバイスをした。さらに、子どもの生活習慣が安定しない事が原因だと思われる不安感やトラブルの多い子に対して、家庭での生活習慣の見直し等について担任と一緒に家庭にアドバイスをしたことで早期改善でき、目標を達成できた。

#### 【感染症罹患状況】

(単位：人)

インフルエンザ A 型	1 2 (内 6 名職員)	流行性耳下腺炎	2
流行性結膜炎	1	伝染性紅斑	3
水痘	2	手足口病	6
胃腸炎	1 3 (内 3 名職員)	マイコプラズマ肺炎	1
溶連菌感染症	1 7	ヘルパンギーナ	4
RS ウイルス	3	頭シラミ	3

##### イ 受診ケース

日々、環境チェック表を活用し安全確認を行っていたので、環境因子が要因のケガはない。自己によるケガが多く歯科受診するケースが多かったが、いづれも念のために受診をした。

月ごとに集計しているインシデント・アクシデントの報告を、職員会議や朝礼で周知し再発防止に努めるよう働きかけた結果、職員の安全に対する意識が高まり、未然に事故を防止できる事が多かった。

	性別・年齢	項目	受診先
4月16日	女兒・4歳児	転倒し口腔内受傷	歯科受診
5月9日	男児・2歳児	転倒し左肘内障	外科受診
5月28日	男児・5歳児	窓枠にぶつかり口腔内受傷	外科受診
10月26日	男児・5歳児	臀部擦過傷	皮膚科受診
12月4日	女兒・2歳児	転倒し口腔内受傷	歯科受診
12月11日	男児・1歳児	給食の隠元を鼻腔に詰める	耳鼻科受診
1月16日	男児・2歳児	左目脇 擦過傷	眼科受診
2月8日	男児・5歳児	左頬擦過傷	形成外科
2月15日	男児・3歳児	転倒し右額腫脹	外科受診

#### (5) 避難訓練及び防災対策

避難訓練は月1回以上実施し、園児にわかりやすいようにイラストを用いたパネル等を使用し、避難時に大切な事を繰り返し伝えた。年度後半から抜き打ちでの訓練を実施したが、園外保育中のクラスも多く、訓練参加クラスが少ない事などの課題が出た。しかし、散歩先にいるクラスとの情報連絡としては良い訓練となったので、反省を踏まえながら次年度の計画に生かしたい。

また、災害時に備え、BCP（事業継続計画）訓練を年2回実施した。特に2回目の訓練は管理者不在を想定して行い、代行の動きを確認するなどして応用力を身に付けた。

加えて、食品添加物由来の模擬煙を使用した火災訓練を調布消防署と実施した。煙の動きや視界の範囲等を園児と体験でき、有意義な訓練となった。

#### (6) 年間行事報告

一年間に実施した行事は、以下のとおりである。

月日	項目	内容
4月2日	入園式	21人の新入園児を迎え会を実施した。職員紹介をしたり、年長児が作ったメダルをプレゼントしたりした他、翌日からの慣れ保育が困らないよう口頭説明した。
5月25日	春の遠足（4・5歳児）	西町公園まで4・5歳児合同で遠足に出かけた。異年齢の交流を重ねてきたので、グループでのゲーム遊びを楽しんでいた。
5月26日	春の遠足（3歳児）	多摩川土手に徒歩でクラス遠足に出かけた。お弁当を持参しての遠足は初めてだったので、子ども達はとても喜んでいった。
7月7日	夕涼み会	年長児が保育室に巨大迷路を作り来客を楽しませた。ヨーヨー釣りやもぐら叩きなど、夏ならではの縁日遊びを親子で満喫した。多くの地域の方の参加もあり、賑やかな会となった。



8月3日～4日	お泊まり保育	夕飯作りを子ども達が行ったり、クラスの友達と皆で手作りのポップコーンを食べながら映画を観たりし、保育園に泊まる事を楽しんでいた。一晩明け、自信がついた表情は誇らし気だった。
9月7日	おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぶ会	今年度は会のレイアウトを変更し、祖父母と触れあるコーナーを広げて実施した。65人の祖父母が参加し、園児と一緒に空き缶積みやもぐら叩きゲーム等の遊びを楽しんだ。
10月6日	運動会	普段から行ってきた運動遊びを披露した。会の援助を年長の子ども達が担ってくれたり、保護者競技に多くの参加があったりし、皆で会を盛り上げながら、子ども達の成長を喜びあった。
10月26日	秋の遠足(3・4歳児)	羽村市動物公園にバスで合同遠足に出かけた。自然豊かな動物園内でモルモットを抱いたり、ゆったりと動物見学をしたりし、子ども達は大喜びだった。
10月20日	秋の遠足(5歳児)	高尾山1号路をスタンプラリーをしながら全員で登った。ただ、登山するだけでなく、友達と励まし合いながら協力して登ったり、普段体験できない自然にたつぷりと触れたりした。友情を深めた良い経験となった。
11月6日	芋掘り散歩	近隣の越山農園に薩摩芋掘りに出かけた。子どもにとって芋を掘るのは根気のいる作業であったが、土の感触を楽しみながら収穫をした。
11月9日	焼き芋会	芋ほり散歩で収穫した薩摩芋を、園庭で炭火にくべ、焼き芋を楽しんだ。自分達で収穫した薩摩芋の味を十分に楽しむことができ、子ども達はおかわりまでして楽しんでいった。
12月19日	餅つき会	天気が良く、園庭に臼を設置して餅つきを行った。当日は保護者が6名手伝ってくれ、会を盛り上げてくれた。ついた餅は年長児が鏡餅にし、園内や近隣の家庭及び老人ホームに配り、一年のお礼の挨拶をして喜ばれた。
1月9日	新年を祝う会	正月の意味をわかりやすく伝え、年長児と職員が正月の遊びを紹介した。職員が扮した獅子舞に驚いて泣く子もいたが、笑いあり、涙ありの楽しい年明けの会となった。
2月1日	節分の会	園庭で豆まきを行った。子ども達は、鬼が現れると、必死で退治に奮闘したり、泣く友達をかばったりしていた。節分の由来を知る良い機会になった。
2月8日	劇団「たんぼぼ」観劇	劇団たんぼぼによる「ブレーメンの音楽隊」の人形劇を観た。幼児クラスの子たちは、物語をあらかじめ知っている子どもも多く、話しの展開を予測しながら楽しんでいった。
2月19日	「荒馬座」公演	普段なかなか見る事のできない伝統舞踊を、子ども達は食い入るように見ていた。掛け声も劇団員と一緒にかけ、会が終わったあと、「荒馬座ごっこ」をして楽しむ様子もあった。
3月15日	卒園式	晴天に恵まれ、21人が晴れやかに門出を迎えた。たくさんのお賓や保護者、職員に見守られる中、一年間を振り返る思い出の言葉や歌を披露した。式後、1年間稽古したお茶のお点前を保護者にふるまい、一日を通して喜びと希望に溢れていた。
3月19日	お別れ散歩	年長児が、各クラスに分かれて一緒に散歩に出かけ、園児との思い出作りを行った。年下の子たちは大好きな年長児が手を繋いでくれたり、本を読んでくれたりして喜んでいった。また、年長児は年下の子と給食を一緒に食べ、最後の思い出作りを充分行った。

3月29日	進級式	新年度からの担任や転園する友達、退職する職員を知り、進級する喜びや感謝をする会となった。転園する子に、クラスの子が励ましの言葉を伝える場面もあり、ほのぼのとした進級式となった。
定例	誕生会と伝統行事	七夕、ひな祭り、水開きなど、季節ならではの行事を年齢に合わせた取り入れをし、意味を伝えながら行った。 また、誕生会では、保護者と担任からのメッセージを添え、生まれた喜び、命の大切さを伝えた。乳児クラス、幼児クラスで別開催とし、季節や子どもの興味に合わせた内容とした。

## (7) 職員研修体系

「研修の状況」を体系別に表すと次のとおりである。

体系		内容 (下記の数字は、「研修の状況」の「No.」を表している。)	回数
一般 研 修	新任職員	2,9,23,24	4
	現任職員研修	4,5,7,12,13,14,15,17,18,19,20,22,23,25,26,27,28,29,30,31,32,33, 34,35,36,37,38,39,40,41,42,43,44,47	34
	副主任研修	6,11,13,21,26,30	6
	主任職研修	1,8,17,26,46	5
	施設長研修	3,10,16,26,42,45	6
専 門 研 修	保育士研修	1,2,3,4,5,6,8,9,10,11,13,14,16,17,18,19,20,21,22,23,24,25,26,27, 29,30,32,33,34,35,37,39,40,42,43,45,46,47	38
	栄養士	7,28,38,44	4
	調理師担当職員研修	12,15,31,36,41	5
	用務職研修	14	1
園内研修		研修報告・新保育所保育指針について・保健関係	12
園内新人研修		接遇マナーについて・保育の方法について	2
研修参加合計		研修参加人数 合計 233人、延べ参加人数 245人	

## (8) 職員研修の状況

研修への参加状況は次のとおりである。

(単位：人)

No.	月日	内容	主催	人数	延べ
1	4月18日	エピペン®投与シミュレーション研修	調布市子ども生活部 保育課	1	1
2	5月8日	新任職員研修会	東京都民間保育園協会	2	2
3	5月16日	東京都の保育行政及び指導検査研修会	東京都民間保育園協会	1	1
4	5月20日	春の研修会	東京都社会福祉協議会	2	2

5	5月22日・23日・24日	障害児保育担当者研修会	社会福祉法人日本保育協会	1	3
6	6月4日・5日・6日	全国私立保育園研究大会	全国私立保育園連盟	1	3
7	6月5日	保育園給食研修会	調布市子ども生活部 保育課	1	1
8	6月6日	小規模プール衛生管理講習会	東京都多摩府中保健所	1	1
9	6月6日	書類の書き方	調布市保育園協会	1	1
10	6月15日	保育所保育指針解説セミナー	日本保育協会	1	1
11	6月25日	調布市子ども発達センター見学 研修会	調布市子ども発達センター	1	1
12	6月28日	給食担当講習会	東京都社会福祉協議会	1	1
13	7月10日	障がい児、保護者との関わり方、 接し方	調布市保育園協会	2	2
14	7月17日	子どもを預かる施設における深刻 事故予防、保育も安全も「声を出 すこと」から	調布市保育園協会	2	2
15	7月18日	栄養管理講習会	東京都多摩府中保健所	1	1
16	8月5日	発達保育実践政策学センター 公開シンポジウム	発達保育実践政策学セン ター	1	1
17	8月7日・8日・9日	平成30年度就学相談講習会	東京都特別支援教育推進 室	3	3
18	8月17日	ぜん息・食物アレルギー緊急対応 研修	公益財団法人東京都福祉 保健財団	1	1
19	8月27日・29日	東京都保育士等キャリアアップ 研修専門分野研修（保護者支援・ 子育て支援）	東京都社会福祉協議会	1	2
20	9月5日	子どもの思いに寄り添う保育を 実践するため	調布市保育園協会	1	2
21	9月11日	指針が求める保育の内容を考え る	調布市保育園協会	1	1
22	10月1日	アンガーマネジメントセミナー	調布市保育園協会	1	1
23	10月3日	エビベン®投与シミュレーショ ン研修	調布市子ども生活部 保育課	2	2
24	10月16日	普通救命講習	調布市子ども政策部 保育課	1	1

25	10月4日	特別支援児の保育	調布市医師会	2	2
26	10月4日	普通救命講習	調布消防署	12	12
27	10月16日	グレーゾーンの子の対応	調布市保育園協会	1	1
28	10月19日	栄養管理研修会	東京都社会福祉協議会	1	1
29	10月29日	食べて、動いて、よく寝よう、運動のススメ	調布市保育園協会	1	1
30	11月7日	発達の気になる子どもの保護者支援	調布市保育園協会	2	2
31	11月8日	食育実践研修会	東京都保育園協会	1	1
32	11月15日	心の育ちと対話する保育実践	調布市保育園協会	2	2
33	11月29日	交通安全・防犯研修会	園児交通安全防犯連絡会	2	2
34	11月30日	調布市子ども発達センター療育見学研修会	調布市子ども発達センター	1	1
35	12月5日	わらべうた研修	調布市保育園協会	1	1
36	12月10日	栄養管理研修会	東京都社会福祉協議会	1	1
37	1月7日・15日・31日	東京都保育士等キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」	公益財団法人総合健康推進財団	1	3
38	1月22日	食品衛生実務講習会	多摩府中保健所	2	2
39	1月24日・25日	東京都保育士等キャリアアップ研修「乳児保育」	一般社団法人日本事業所内保育団体連合会	1	2
40	1月25日	室内の研究会	おおぞら教育研究所	2	2
41	1月30日	保育園給食研修会	調布市子ども生活部 保育課	1	1
42	2月5日	交通安全・防犯講習会	園児交通安全防犯連絡会	3	3
43	2月15日	保育の質を高める研修会	東京都民間保育園協会	1	1
44	2月21日	給食担当講習会	東京都社会福祉協議会	1	1
45	2月24日・25日	保育所・認定こども園リーダーシップセミナー	全国保育協議会	1	2
46	2月25日・26日・27日	保育所等マネジメント研修会(主任保育士対象)	日本保育協会	1	3
47	2月26日	保育所保育実践研修会	東京都民間保育園協会	1	1
研修参加人数合計 73人      延べ参加人数合計 85人					